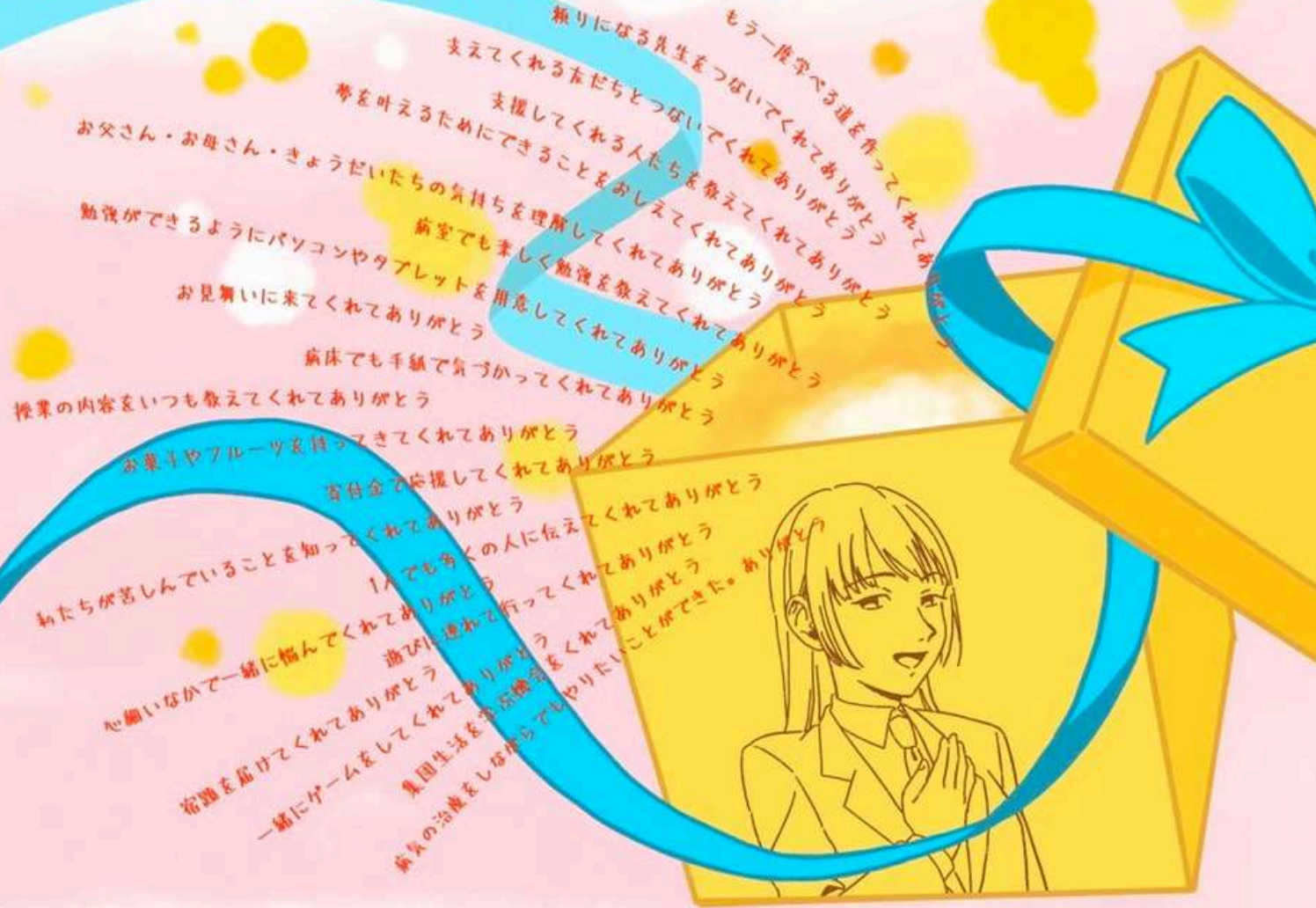


# ありがとうが貯まる。



## 病気療養中の高校生を応援する 支え合い井戸端セミナー

あなたにもできることが  
きっと、ある

病気の療養で、満足に学校に通えない高校生がいます。彼らの望みは、決して大きなことではありません。病室で勉強を教えてくれた。一緒にゲームをしてくれた。小さな支えの1つひとつが無数の「ありがとう」に変わります。彼らの明るい未来を、共に考えませんか？  
全国の会場であなただけの「できること」を貯金中です。

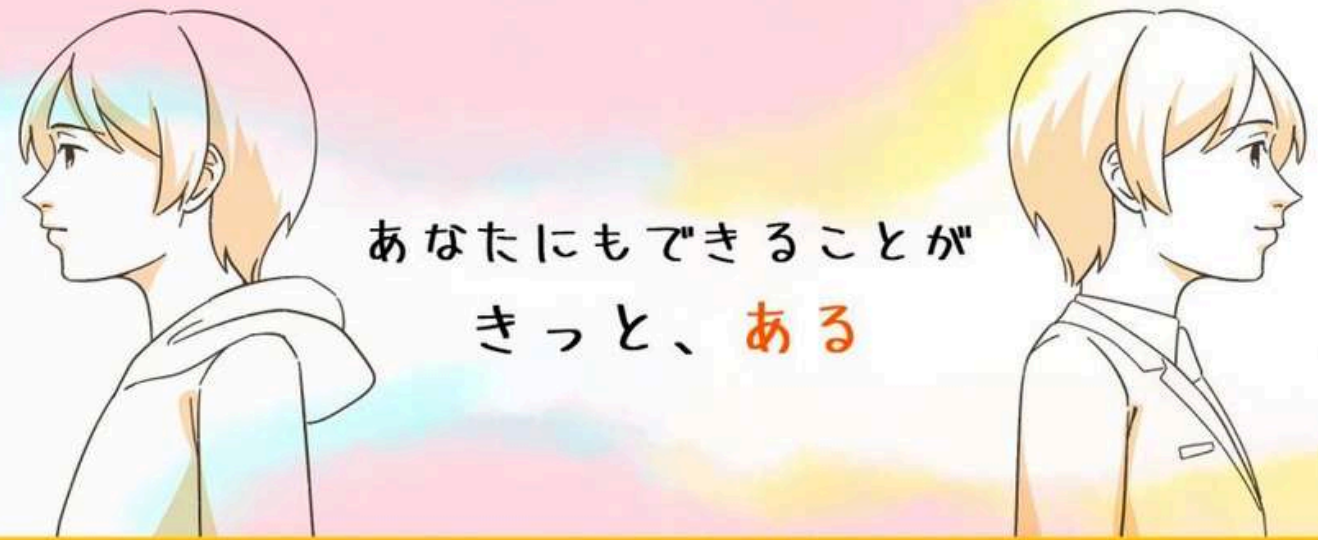


2024 日 10:30 - 12:00 (開場10:00)  
**9.1**  
会 | 日本大学文理学部 オーバルホール  
場 | 東京都世田谷区桜上水3-25-40  
誰でも**無料**でご参加いただけます！



赤い羽根  
福祉基金

主催：NPO法人未来ISSEY、日本大学文理学部 田中謙研究室 東京ブロック応援団長：NPO法人東京子どもホスピスプロジェクト  
共催：一般社団法人日本珪藻土協会 後援：世田谷区教育委員会  
この事業は中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」の助成を受けて実施しています。



あなたにもできることが  
きっと、ある

### 病気療養中の高校生を応援する支え合い井戸端セミナー

これまでとこれから〈課題と現状〉

**講話1** 東京子どもホスピスの学習支援などについて  
～今を生きる～ / 佐藤良絵

長男が高校生の時に悪性の骨肉腫と診断され、闘病生活を経て20才になる3日前に旅立ちました。病気の子どもの居場所の必要性を感じ、小児がんの子どもたちのためにNPO法人東京子どもホスピス設立を決意。テレビ、ラジオ、新聞連載など、子どもホスピスの普及に向けた発信を精力的に行っています。



吉田 ゆかり  
NPO法人 未来ISSEY 代表  
知っていれば守れたことが沢山あり知っていれば行動にうつしてくれる人もいっぱいいるはず。地域で情報を共有して本人の意思で選べる未来を叶えていきましょう！

**講話2** 学ぶことが好きになり、ストレスが減り、  
学力も育っていった院内学級での実践事例と  
そのポイント / 栗山宣夫



育英短期大学保育学科教授  
日本特別ニーズ教育学会理事  
全国病弱教育研究会副会長  
中学1年時に小児がん治療のため国立がんセンター病院等に約5か月入院。患者としての体験、院内学級教師としての実践事例を考察、研究してきました。その一端をお話しできればと思います。



栗原 久美  
NPO法人 未来ISSEY 事務局長  
長男が高校生の時小児がんになって闘病生活を支援しました。すべての療養中の高校生がきちんと学べる環境づくりを！

**講話3** 院内学級があったから乗り越えられた  
/ 寺島大貴



理学療法士  
若年生がん患者団体STAND UP!! 運営  
闘病生活中、学習面や思春期の気持ちを支えてくれたのは、当時通った院内学級でした。当時受けることができた恩恵を、皆さんに知っていただけたらと思います。



佐藤 良絵  
NPO法人東京子どもホスピスプロジェクト  
代表理事  
東京ブロック応援団長  
NPO法人未来ISSEYさんとのご縁を沢山の方に広げていきたいと思ってお手伝いさせて頂きます。子どもたちとその家族の希望の光になりますように！

高校生が学び続けられた最新の取り組み

課題に取り組む人たちのチャレンジ

### イベント申し込み

病気になった高校生の学びの問題を知っている人が1人でも増え、地域で共有できれば問題が発生したとき確実に情報が伝わります！  
あなたの支えで、病気療養中の高校生の未来を広げることができます！



**未来** NPO法人 未来ISSEY  
病気を抱える子どもたちの未来を創る活動をしています。  
〒763-0003 香川県丸亀市葭町17 Mail: miraissey@gmail.com  
TEL: 0877-35-8115 HP: https://miraissey.com/

このチラシは病気療養中の子どもを応援する社会貢献事業「スキルマルシェ」にて制作しました。

